

第3期 越知町まち・ひと・しごと創生総合戦略「おち家の挑戦」改訂の概要

令和7年11月25日
越知町まち・ひと・しごと推進会議
【資料2】

総合戦略の基本的な考え方

- ・ 社会保障・人口問題研究所（社人研）推計の人口に独自の目標を達成することで、人口減少を抑える
あわせて人口減少に対応した社会構造を目指す
- ・ 独自目標（数値目標）は、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望※1、移住・定住に関する希望や、高校生や大学生の就職に関する希望※2をかなえることにより、越知町の出生率の向上および移住・定住の促進を図るものとする

※1高知県「少子化に関する県民意識調査」理想的な子どもの人数 2.03人

※2高知県「就職・進学希望地等意識調査」

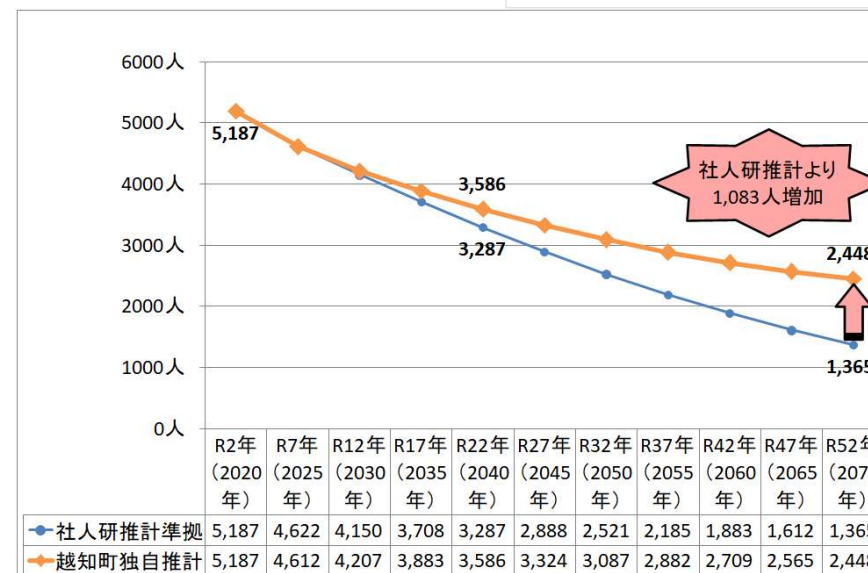
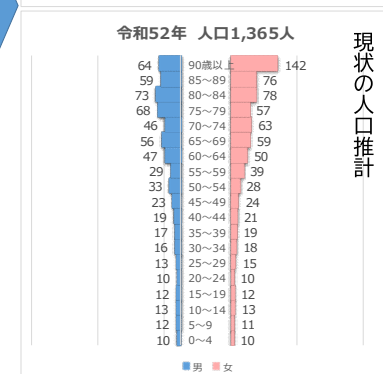
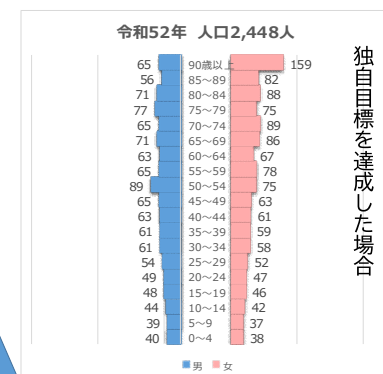
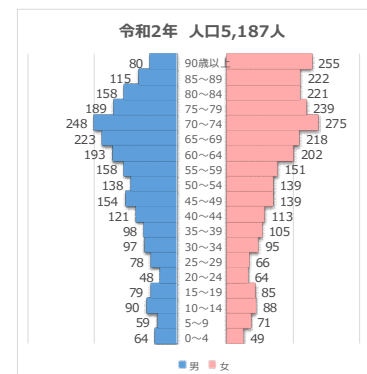
高校生・大学生などの将来的に越知町に帰ってくる気持ち あるorすこしある 53.3%

改訂の要因

- ・ 国計画の変更
まち・ひと・しごと創生総合戦略⇒デジタル田園都市国家構想総合戦略
⇒地方創生 2.0総合戦略（策定中）
- ・ 県計画の変更
高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略⇒高知県元気な未来創造戦略
- ・ 町計画の変更
第5次総合振興計画⇒第6次総合振興計画
- ・ 数値の時点修正
平成27年国勢調査⇒令和2年度国勢調査
- ・ 社人研推計の手法変更に伴う予測人口の減
出生数=女性人口*出生率
前回までは15～49歳の女性人口を使用していたが、20～44歳に変更された
前回推計 令和22年:3,531人、令和42年:1,909人
今回推計 令和22年:3,287人、令和42年:1,883人、令和52年:1,365人

改訂の結果

- ・ 令和8年度～令和12年度の5年間を計画期間とする
- ・ 基本的な考え方、5つの基本目標については変更なし
- ・ 独自目標の数値も概ね変更なし
出生率を2.07、令和12年以降の社会増減±0、
追加で移住者を年間10人、地域おこし協力隊を年間2人雇用
- ・ 人口目標数値の変更※端数切上
前回目標 令和22年:4,200人 令和42年:3,700人
今回目標 令和22年:3,600人（推計+313）令和52年:2,500人（推計+1,135）



独自目標を達成した場合の人口推計